
虚空の英雄

砥和 浩

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

虚空の英雄

【Nコード】

N3371W

【作者名】

砥和 浩

【あらすじ】

裏側の世界

そこには私たちには解らないことが広がっていた

これまでか・・・

偽りを真実に

悪を正義に変えていこうと決意したが・・・。

暗い人ごみの中で光りを探し求めた

人の心は無限の奈落のように落ちていた。

空を見上げる

雲のすき間から月明かりが照らしていた。

『月』それは忠実な証人

そこにあり、そこにまた戻ってくる。

暗い夜空をひとときわ輝き地上を照らす。

空にあるあの月のように私はなりたかった

だが私はなれなかった。

ただ、ただ弱々しいロウソクの光りでしかなかった。

『本当にそう思うか？』

―事実だ

『その弱々しい光りで照らせる人はいなかったか？』

―いる？いない？わからない、居なかったはずだ

『それは自分に嘘をついていないか？』

―わからない

『お前は考えろ！！』

―私は考えた

『だが解らないか？』

―考えたすえにわからなくなった

『その光で大切な人を守れたはずだ』

―大切な人。守った。だが今はいない。

『なぜ？失った？』

―自分が弱かったから

『なにが？足りないとおもう？』

―チカラ、ココロ。すべて足りなかった

『それがありったけあれば守れたか？』

―わからない、やってみなければわからない。

『やり直したいか？』

―どちらでもいい

『この現状を塗り替えられるか？』

―わからない

『では止めておこう』

―研究報告―

人類最新の英雄『C08A』

2011年3月11日

目的消失

同日付

個体消去確認

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3371w/>

虚空の英雄

2011年10月9日15時56分発行